

第4学年 音楽科学習指導案

日 時 令和3年9月3日(金)

子ども 4年

I 題材名

<授業の見どころ>

せんりつのとくちょうを感じ取ろう
(小学生の音楽 4 教育芸術社)

子どもたちが学習方法を選びながら、旋律の特徴
を確かめ、どのように歌うかを考えます。

II 題材の指導構想

1 題材について

- 子どもたちは、いろいろな曲を歌ったり、たくさんの楽器を使った合奏をしたりしたいと意欲的に学習に取り組んでいる。楽曲を聴いて、聴き取ったことや感じ取ったことを様々な言葉で表現しようとする子どもが多い。しかし、要素の働きに気が付いたり、思いや意図を表現に生かしたりすることまでには至っていない。

これまでの学習において、3学年では旋律の音の上がり下がりについて学習をしている。4学年の「いいことありそう」では、前半の弾む感じと後半ののびのびした感じの旋律やリズムの特徴を感じ取る学習をしてきている。曲想が変わるところに気付くことができるようになっているが、それがなぜなのか、旋律の特徴をとらえることに難しさを感じている子どももいる。

- 本題材は、共通事項「音楽を形づくっている要素」として、「旋律」に重点がおかれている。本題材は、「陽気な船長」「ゆかいに歩けば」を設定しており、どちらも旋律の特徴を学ぶことに適した教材である。「陽気な船長」は、前半アの弾んだ感じと後半イの滑らかな感じという対比しやすい教材である。旋律を比較しながら、旋律の特徴に合った演奏の仕方を身に付けることができる。「ゆかいに歩けば」は、スタッカートが多く、旋律の動きがあまり大きくない前半アと伸ばす音が多く、旋律の動きが大きくなっていく後半イで曲想が大きく変わるため、旋律の特徴をつかみやすい教材である。それぞれの旋律の特徴を生かした歌い方を身に付けるのに適している。また、朝の会で歌っている「今月の歌」でも、旋律の特徴が変わる歌があり、子どもたちがつなげて考えることができるように場面を設定する。そのような学びの文脈を生かし、題材で学んだ旋律の特徴を他の曲にもつなげることができ、思いや意図を生かすために重要な題材となる。
- 指導に当たっては、次の四点に留意する。

一点目は、**必然性のある課題設定【手立て1】**についてである。楽曲と出合いの時の聴き取ったことや感じ取ったことから、旋律の特徴にかかわる内容に注目することができるようにする。題材を通して旋律について学んでいくことを確認することで、課題を自分たちで設定することができるようにする。

全校研究とのかかわり「つなぐ」

二点目は、**音や音楽のよさを実感する学習方法の選択【手立て2】**についてである。これまで旋律について学ぶときに、旋律線を引いたり体を動かしたりすることで、音楽を共有する手立てとしてきた。自分で考えやすい方法を選んで、旋律の特徴を感じ取ることができるようにする。また、曲想と旋律の特徴や強弱の変化などのかかわらせて、曲想を生かした盛り上がりなど歌い方を工夫させていきたい。

全校研究とのかかわり「えらぶ」「つかう」

三点目は、**学び合いの工夫【手立て3】**についてである。自分で選んだ学習方法で学んだ後、それを目的や課題に効果的に働くグループや一斉で学び合うことで、感じ方や考えなどをつなぎ、楽曲のよさや面白さを感じ取ることができるようにする。**全校研究とのかかわり「つなぐ」**

四点目は、**生活や社会とつなげる場面の工夫【手立て4】**についてである。「今月の歌」で歌っている曲や生活の中にある曲とつなぐ場面を設定するなど、学んだ旋律の特徴を他の曲を歌ったり演奏したりすることときに生かすことができるようにする。**全校研究とのかかわり「つなぐ」**

2 学びの文脈に基づいた題材構想図

題材の目標		
(1) 曲想と旋律の特徴などのかかわりに気付くとともに、思いや意図に合った音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。 (2) 曲想と旋律の特徴などのかかわりについて考え、それらに合った表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもつ。 (3) 旋律の特徴を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら協働的に歌唱や器楽の学習に取り組む。		
題材の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 知 曲想と旋律の特徴などのかかわりに気付いている。(歌唱、器楽) ② 技 思いや意図に合った音楽表現をするために必要なタンギングや息の使い方に気を付けて演奏する技能を身に付けて演奏している。(器楽) ③ 情 思いや意図に合った音楽表現をするために必要な呼吸に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。(歌唱)	① 思 旋律の特徴を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったことのかかわりについて考え、曲の特徴をとらえた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。(器楽) ② 思 旋律の特徴を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったことのかかわりについて考え、曲の特徴をとらえた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌唱)	① 態 旋律の特徴を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら協働的に歌唱や器楽の学習に取り組もうとしている。(歌唱、器楽)

復興教育との関連

○ いきる「③価値ある自分」

自分と友達の聴き取ったことや感じ取ったことを交流し理解する場面において、互いに理解しようとしたり認め合ったりすることで、自分の楽曲への思いや意図を価値あるものとして受け入れられていることを感じ、自己有用感と自己存在感を感じるとともに自己肯定感を高める。

○ かかわる「⑨仲間や地域の人々とのつながり」

互いの考えを理解し合うことで、音楽表現への自分の考えを深めたり、楽曲への思いや意図を広げたりしていることに気付かせる。

他教科・領域等

体育 4年10月
「表現・リズムダンス」
・題材の特徴をとらえたり、友達の動きを取り入れたりして、踊る。

行事 4年11月
「全校音楽集会」
・楽曲に対する思いや意図をもち、友達と協働しながら表現を工夫する。

資
質
能
力
の
高
ま
り

教科の学習内容

3年10月
せんりつのとくちようをかんじとろう
・ 旋律の上がり下がり

4年5月
歌声のひびきを感じ取ろう
・ 旋律づくり

本題材 4年9月
せんりつのとくちようを感じ取ろう
・ 旋律の特徴に合った演奏の仕方
・ 旋律の特徴を生かした歌い方

4年1月
日本の音楽でつながろう
・ 旋律づくり

5年9月
曲想の変化を感じ取ろう
・ 曲想とその変化

他教科・領域等

行事 4年5月
「スポーツフェスタ」
・ 集団の演技についての課題をもち、楽曲に合わせて仲間と協力して踊る。

学校生活「今月の歌」
・ 様々な曲想に触れたり、曲想の変化に合わせて歌ったりする。

見方・考え方を働かせるポイント

- 曲想と旋律の特徴とのかかわりに気付くこと
学習方法を選択しながら、音楽を形づくっている要素(旋律)とその働きに気付いたり、曲想とのかかわりを感じ取ったりすることができる。
- 表現を工夫し思いや意図をもつこと
曲の特徴をとらえ、要素とその働きを生かした表現や活動を工夫することができるようにする。

願い

- ・ いろいろな曲を歌いたい。
- ・ きれいな二部合唱をしたり、たくさんの楽器を使って合奏をしたい。
- ・ 有名な曲を聴いてみたい。
- ・ 友達やグループで話し合っって学習したい。

教科の力

- 音楽の学習に前向きに取り組んでいる子どもが多い。
- 楽曲を聴いて、聴き取ったことや感じ取ったことを発表する子どもが多い。
- 要素の働きに気が付いたり、思いや意図を表現に生かしたりするまでには至っていない。
- 音や音楽の特徴を聴き取ったり感じ取ったりするための学習方法が身に付いていない。

子どもの実態

3 題材の指導及び評価の計画（全5時間）

	◎ねらい　○学習内容 働かせる見方・考え方	◆研究の手立て	評価			
			知技	思	態	評価規準 評価方法
◎　「陽気な船長」の特徴をとらえた表現を工夫して演奏する。						
1	○　曲想をつかみ、学習の見通しをもつ。 ○　階名を確かめて演奏する。	手立て2 学習方法の選択 ◆旋律の特徴を学ぶための学習方法の選択 →【えらぶ・つかう】 手立て3 学び合いの工夫 ◆個人→グループ→全体と学びをつなげる学習形態の工夫　→【つなぐ】				態① 行動観察 発言内容 ①知
2	○　旋律の特徴を考える。 ○　旋律の特徴を生かして演奏する。 音楽を形づくっている要素（音色、 <u>旋律</u> ）とその働きを生かした表現					行動観察 発言内容 思① 行動観察 演奏聴取 発言内容
◎　「ゆかいに歩けば」の旋律の特徴をとらえた表現を工夫して歌う。						
3	○　曲想をつかみ、学習の見通しをもつ。 ○　旋律を覚えて歌う。	手立て1課題設定 ◆題材の目標を意識した必然性のある課題設定 →【つなぐ】				態① 行動観察 発言内容 ①知
4 本時	○　旋律の特徴を考える。 ○　歌い方について思いや意図をもつ。 音楽を形づくっている要素（音色、 <u>旋律</u> 、 <u>強弱</u> ）とその働きを生かした表現の工夫	手立て2 学習方法の選択 ◆旋律の特徴を学ぶための学習方法の選択 →【えらぶ・つかう】 手立て3 学び合いの工夫 ◆個人→グループ→全体と学びをつなげる学習形態の工夫　→【つなぐ】				発言内容 思② 行動観察 演奏聴取 発言内容
5	○　旋律の特徴を生かして歌う。 音楽を形づくっている要素（音色、 <u>旋律</u> 、 <u>強弱</u> ）とその働きを生かした表現					③技 演奏聴取

Ⅲ 本時の指導

1 目標

- 曲想と旋律の特徴や強弱とのかかわりに気付き、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。

2 評価規準

【知識】

- ・ 曲想と旋律の特徴などのかかわりに気付いている。

【思考・判断・表現】

- ・ 旋律の特徴を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことのかかわりについて考え、曲の特徴をとらえた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

<努力を要する状況の子どもへの手立て>

既習曲の学習を想起させたり、旋律の学習方法の掲示を確認したりすることができるようにする。

3 展開（4／5時）

	学習活動 ○発問	時間	◆研究に関わる手立て 予想される子どもの反応	・留意点 【評価】
導入	1 学習課題の把握 (1) 学習内容を把握する。 - 聴き取ったり感じ取ったりした曲想を想起する。 「ゆかいに歩けば」を歌う。 (2) 課題を把握する。 ○「ゆかいに歩けば」で今日はどんな学習をしますか。 アとイそれぞれどのように歌えばよいか考えよう。	7 3	・弾む感じ。 ・なめらかな感じ。 ・途中で曲の感じが変 わる。 ・曲の感じが変わるの はなぜだろう。 ・アとイの歌い方を工 夫してみたい。	前時に聴き取ったり感じ取ったりしたことを提示する。
展開	2 学習課題の解決 (1) 歌い方の工夫を考える。 ○どんな工夫ができそうですか。 ○何をもとに工夫できそうですか。 - 自分で考える。 - ワークシートに気付いたことなどを記入する。 - グループで学び合う。 (2) どのように歌いたいか、思いや意図を確かめる。	15 10	手立て2 学習方法の選択 ◆旋律を学習するとき、どのような学習方法を使ってきたかを想起させ、自分が考えやすい方法を選ぶ。 →【えらぶ・つかう】 ・「陽気な船長」のときのように、スタッカートなしで歌ってみよう。 ・旋律線を引いてみよう。 手立て3 学び合いの工夫 ◆自分の考えを確かめたり広げたりするために、グループで学び合い、全体の学びにつなげる。→【つなぐ】 ・アはスタッカートがあるから弾むように歌いたい。歌詞にも合うように歌いたい。 ・イの音はどんどん高くなっていく。強弱に関係している。	【①知】 行動観察 発言内容 【思②】 行動観察 演奏聴取 発言内容
終末	3 本時のまとめ (1) 本時の振り返りをする。 (2) 振り返りを発表する。	5 5	【振り返りの表現例】 ① アはスタッカートがあるから弾むように歌いたい。イは長い音符が多いからのびのびと歌いたい。それぞれ旋律に特徴があることがわかった。それに合った歌い方で歌いたい。 ② アは旋律の上がり下がりがあまりない。イは音がだんだん高くなり曲の山があるから、強弱を付けて盛り上がるように歌いたい。強弱を付けて歌うと、もっと楽しい歌になりそうだ。	課題に対して振り返ることができるようにする。

